

# シリーズ 景観 67

『みんなで残したい松江の景観400選集』から  
景観審議会が特にお薦めする景観

## ホーランエンヤ

No.396

「ホーランエンヤかいでんません権伝馬船の写真です。五大地のホーランエンヤが末永く伝承されることを切望しております」と推薦いただきました。

ホーランエンヤは松江城山稻荷神社式年神幸祭の通称で、大阪府の天神祭り、広島県・厳島神社の管弦祭と共に日本三大船事の一つに数えられる、水の都松江が誇る全国最大級の船祭りです。

その歴史は、今から約370年前の慶安元年に松江藩主松平直政公が天候不順による凶作に一計を案じ、城山稻荷神社の御神霊を阿太あた加夜かや神社まで船でお運び

し、長期にわたる豊作祈願をさせたことに始まっています。

中でも五大地と呼ばれる馬淵・矢田・大井・福富・大海崎地区の権伝馬船は、それぞれ色とりどりののぼりや旗で絢爛豪華な装飾を施し、船首での剣けん権けんの勇壮な踊りや船尾での采振さいぶりの優雅な舞いは一大錦絵巻の様相を呈し、観衆を魅了します。

現在は十年に一度行われるホーランエンヤ。人々の幸せと五穀豊穡への願いを込めて高らかに唄い上げられる舟唄の響きとともに、後世へ残していきたい風景です。



「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。

【問い合わせ】まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選

検索 

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。